
荒木 高伸メ～テレ社長記者会見

メ～テレ(名古屋テレビ放送)は12月9日午後、荒木社長の記者会見を行ないました。



本社1F 多目的ホールで記者会見を行なう、メ～テレ 荒木高伸代表取締役社長
(右から二人目)

会見の要旨は、以下の通りです。

メ～テレは、来年、2012年4月1日に開局50周年を迎えます。1962年に放送を開始して以来、半世紀にわたって地元の皆さまからご支援をいただいて参りました。そして、この50年という大きな節目に、社員全員、新たな心意気で、羊と狼、両方の良いところを追い求めて、次の半世紀に向かってスタートを切ります。

すでにご案内している通り、50周年の期間は、今年10月1日から、再来年の3月31日までの1年半としました。本日は、50周年事業の「番組」「イベント」を中心に発表いたします。

その前に、最近の経営状況について、若干、触れておきます。

今年4月以降、6月までの第1四半期は、3月に発生した東日本大震災の影響でスポット広告の収入が落ち込みました。しかし第2四半期は前期並みにまで回復し、ローカルタイム収入も比較的順調だったこともあり、今週月曜日発表の中間決算では、「増収増益」の報告をさせていただきました。

ただし、長引く円高やヨーロッパの財政危機の影響もあり、テレビ広告市場の今後は楽観を許さないと考えています。このため、今後も業務の効率化や経費削減の努力は基本的に継続していきますが、それと同時に、映像メディアとして、コンテンツ重視の姿勢を強めていきます。

こうした立場から、50周年事業でも、魅力あるコンテンツをお届けすることを第一義に、いろいろ企画を練って参りました。

ローカル番組は、年明け早々、3時間の生ワイド番組を2本、放送します。詳しくは、ひとつ大きな特色は、報道局発の「メディアプロジェクト」という試みです。「地元応援団宣言！」というテーマのもとに、メ～テレの朝夕のレギュラー番組「ドデスカ!」「UP!」がタッグを組んで、2~3カ月に1本のペースで、生ワイド番組を制作します。その第一弾が、1月9日という位置づけです。

そして1月14日には、視聴者情報を基に、この地方が世界に誇れるヒトやモノをクイズ形式で紹介する「ニッポンど真ん中遺産」という、こちらも3時間の生ワイド番組を放送します。この番組は、3月31日、5時間規模で生放送予定の「アワード番組」へとつながっていきます。

次に、ネット番組です。メ～テレはこれまで、周年ごとにスペシャルドラマを制作してきましたが、50周年でもドラマを制作致します。50周年期間中に、全国ネットでの放送を検討中です。詳しくは、近く決定次第、発表させていただきます。

イベント関連では、レギュラー番組「BOMBER - E」スペシャル・「レジェンドメモリアル」と題して、この地方での有名アーティストたちのライブを、開局50周年を記念して開催します。第一弾は、1月7日に行なわれる「久保田利伸コンサート」です。年末には、アーティスト久保田利伸の人物像を掘り下げる特別番組も放送します。

他にイベントでは、すでに名古屋栄の「オアシス21」で展開している、氷じゃないのにスケートができる「トヨタホームリンク」が大変にご好評をいただいています。

また来年2月には、三谷幸喜さんの新作舞台「90 ミニッツ」の公演に、ご期待いただきたいと思います。

映画では、開局50周年の冠をつけた「ギャルバサラ」が、すでに公開中です。

地元貢献というスタンスでは、これまで南山大学で実施してきたメ～テレ特別講義を、50周年事業として名古屋大学でも開講しました。メ～テレの現場で働く報道記者やディレクター、アナウンサーが教壇に立って自らの経験を語る講義は、大学生の皆さんのメディアリテラシー向上のお役に立っていると自負しております。

50周年という大きな節目にあたり、これまでメ～テレを育ててくださった地元の皆さまへの感謝の気持ちを、さまざまな番組やイベントだけでなく、いろんなかたちで地元にご貢献していきたいというのが、メ～テレの願いです。

今後とも引き続き、皆様方のご支援をよろしくお願い致します。ご清聴ありがとうございました。

50 羊も。狼も。 メ～テレ

News Release

2011年12月9日



記者会見後、メ～テレアナウンサーと新たにする 荒木高伸 代表取締役社長(中央)
(他は、左から塩尻奈都子アナ、鈴木しおりアナ、星恭博アナ、佐藤裕二アナ)

<問い合わせ先> メ～テレ(名古屋テレビ放送)
名古屋市中区橘2-10-1
【社長室】 浅沼・長谷川 TEL:052-322-7108